



2016年3月期第1四半期 決算説明会

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社
2015年8月5日

- 決算概要（連結・単体）
- 事業の動向
- 重点施策とトピックス

連結決算概要

2016年3月期第1四半期決算のポイント

- ◆ **売上高316億円、営業利益6.8億円と前年比増を達成**
(売上高：7.8%増、営業利益：12.1%増)
- ◆ 特別利益（持分変動利益など）の前年比減少の影響により、
四半期純利益は減少
- ◆ 単体は**動画広告やコミュニケーションメディアを中心に、
ディスプレイ広告が伸長し、営業利益は前年比5倍と大幅増**
- ◆ グループでは、**アイレップ、博報堂アイ・スタジオ、トーチライトが
好調**

連結決算ハイライト

(百万円)

	2016年3月期 1Q	
	四半期 (2015/4~2015/6)	前年同期比
売上高	31,674	107.8%
売上総利益	4,335	110.6%
営業利益	683	112.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	309	87.9%
EBITDA	891	111.0%
OM率 (※)	15.8%	+0.2pt

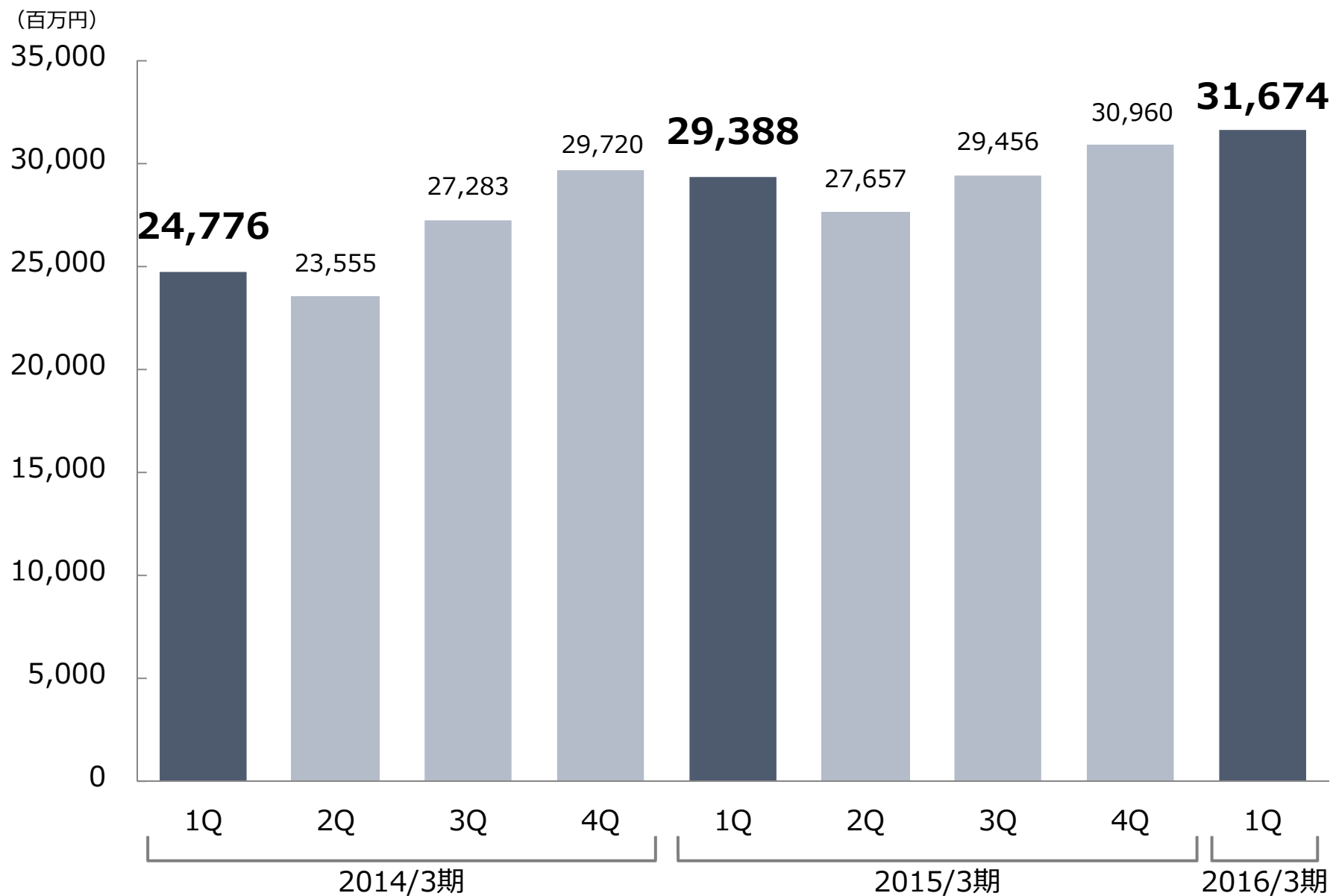
(※) オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

業績予想の修正と進捗率

(百万円)

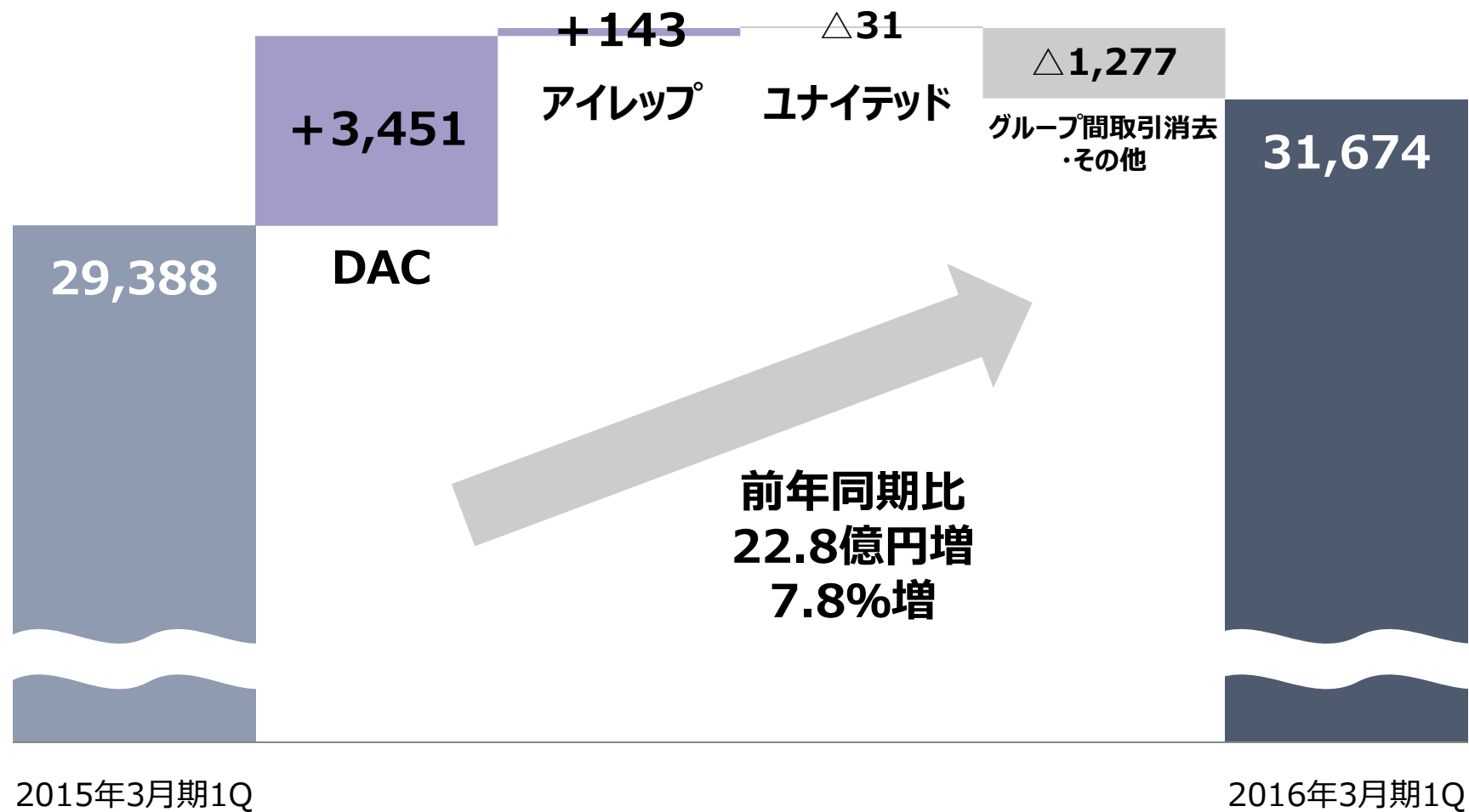
	2016年3月期 (2015/4~2016/3)			
	期初予想	修正予想	1Q実績	進捗率
売上高	134,000	135,000	31,674	23.5%
営業利益	2,700	3,550	683	19.3%
経常利益	2,700	3,550	709	20.0%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	1,150	1,350	309	22.9%
1株当たり 当期純利益	23.68	27.80	—	—

売上高の推移（連結）：四半期ベースで過去最高

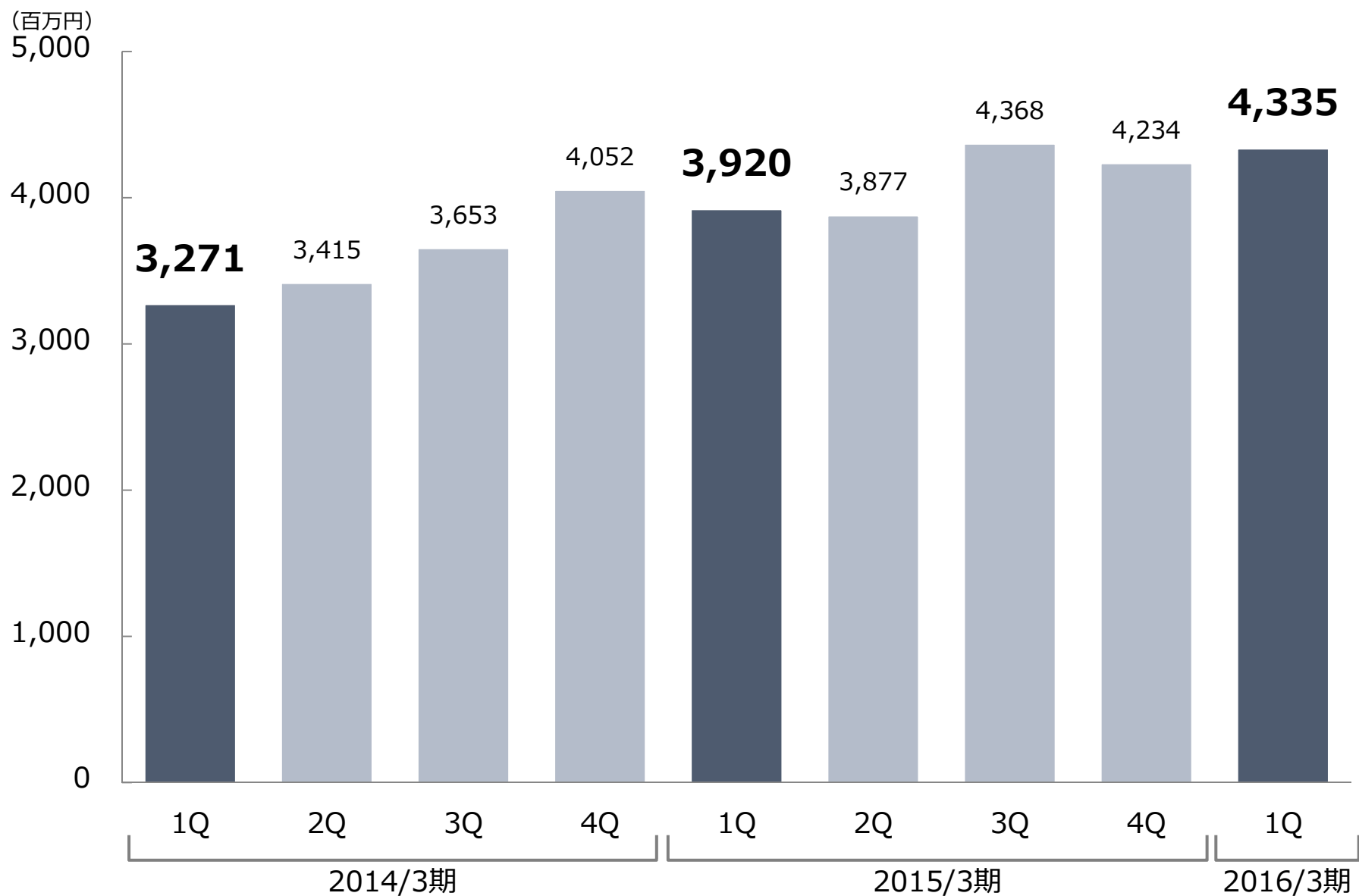


売上高 対前年同期比 増減要因

(単位：百万円)



売上総利益の推移（連結）：第1四半期として過去最高



事業領域別の状況（連結）

売上高	2015年3月期 1Q (2014/4~2014/6)		2016年3月期 1Q (2015/4~2015/6)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
インターネット関連事業	29,350	99.7	31,398	99.0	107.0
エージェントソリューション	26,749	90.9	29,623	93.4	110.7
メディアソリューション (※)	3,115	10.6	3,466	10.9	111.3
ソリューション間消去	△514	-1.7	△1,691	-5.3	—
インベストメント事業	76	0.3	308	1.0	401.1
合計	29,426	100.0	31,706	100.0	107.7

売上総利益	2015年3月期 1Q (2014/4~2014/6)		2016年3月期 1Q (2015/4~2015/6)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
インターネット関連事業	3,846	98.1	4,040	93.2	105.1
エージェントソリューション	2,591	66.1	2,703	62.4	104.3
メディアソリューション (※)	1,299	33.2	1,391	32.1	107.1
ソリューション間消去	△45	-1.2	△54	-1.3	—
インベストメント事業	74	1.9	294	6.8	397.4
合計	3,920	100.0	4,335	100.0	110.6

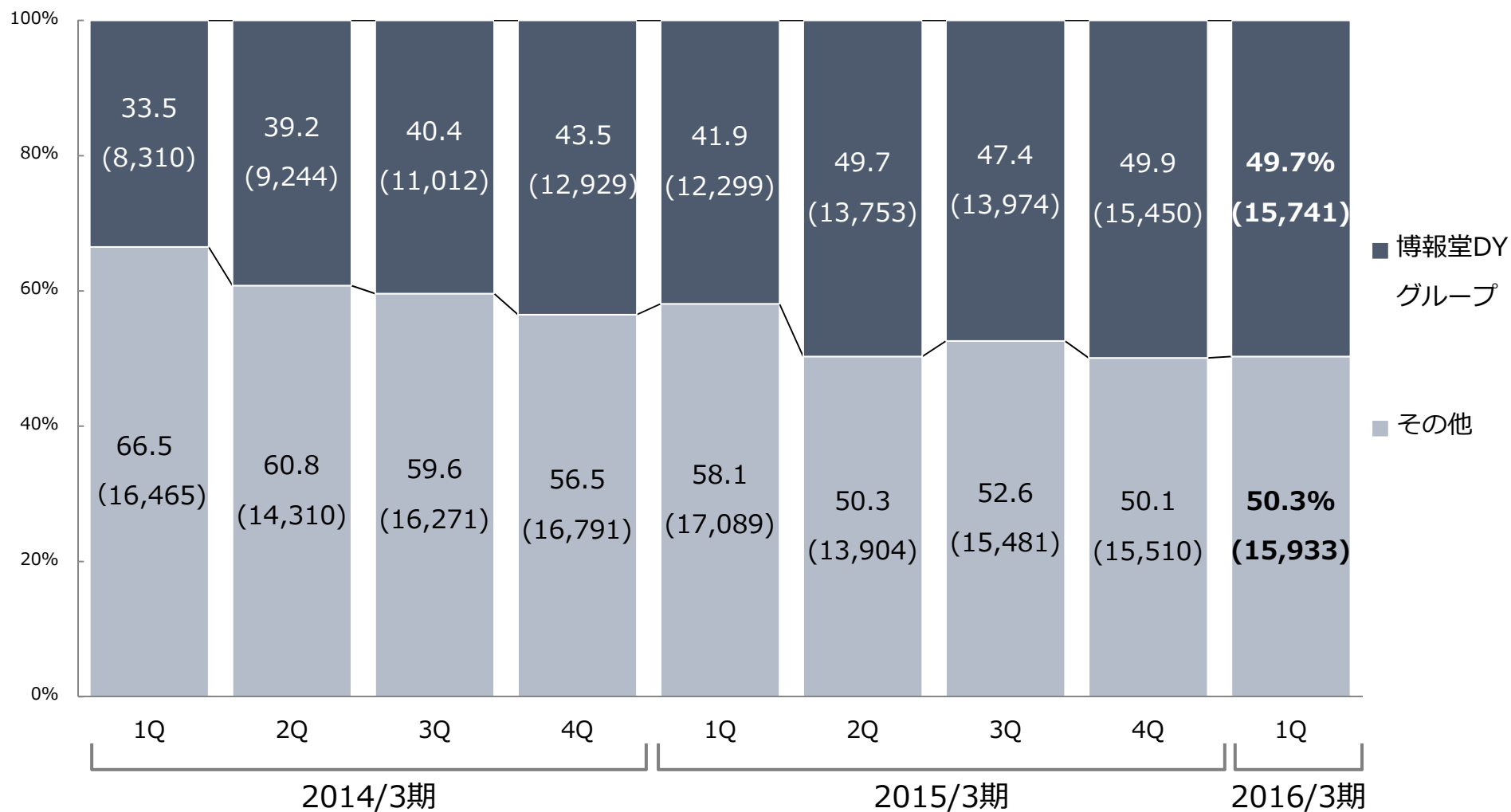
(※) メディアソリューションに含まれるメディア売上高について、エージェントソリューションとの比較のために売上高をグロス数値に換算しているため、会計上の数値とは異なります。

広告会社別の売上高（連結）

	2015年3月期 1Q (2014/4~2014/6)		2016年3月期 1Q (2015/4~2015/6)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
博報堂D Yグループ	12,299	41.9	15,741	49.7	128.0
その他	17,089	58.1	15,933	50.3	93.2
合計	29,388	100.0	31,674	100.0	107.8

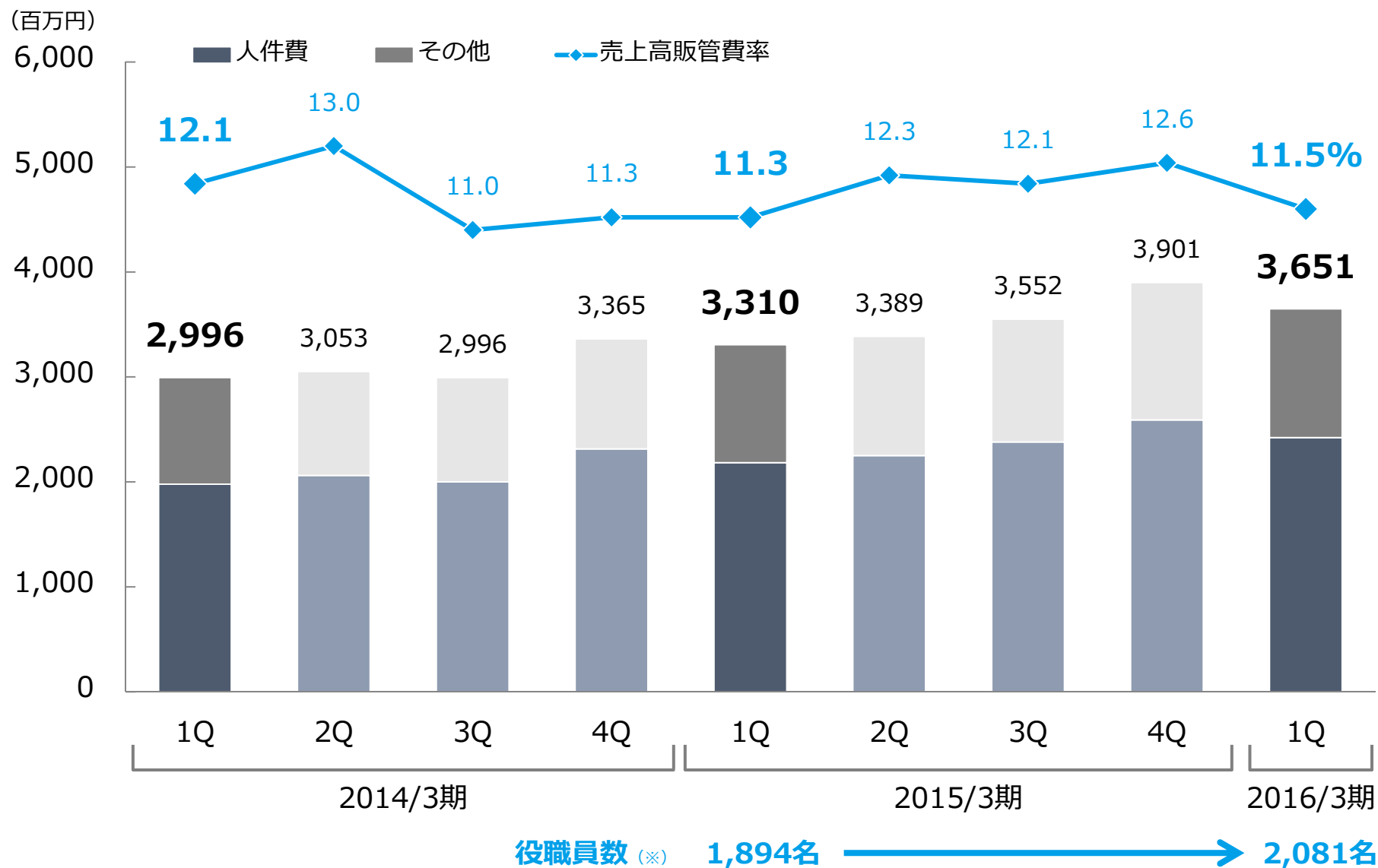
広告会社別売上高 構成比推移 (連結)

(単位：% / 百万円)



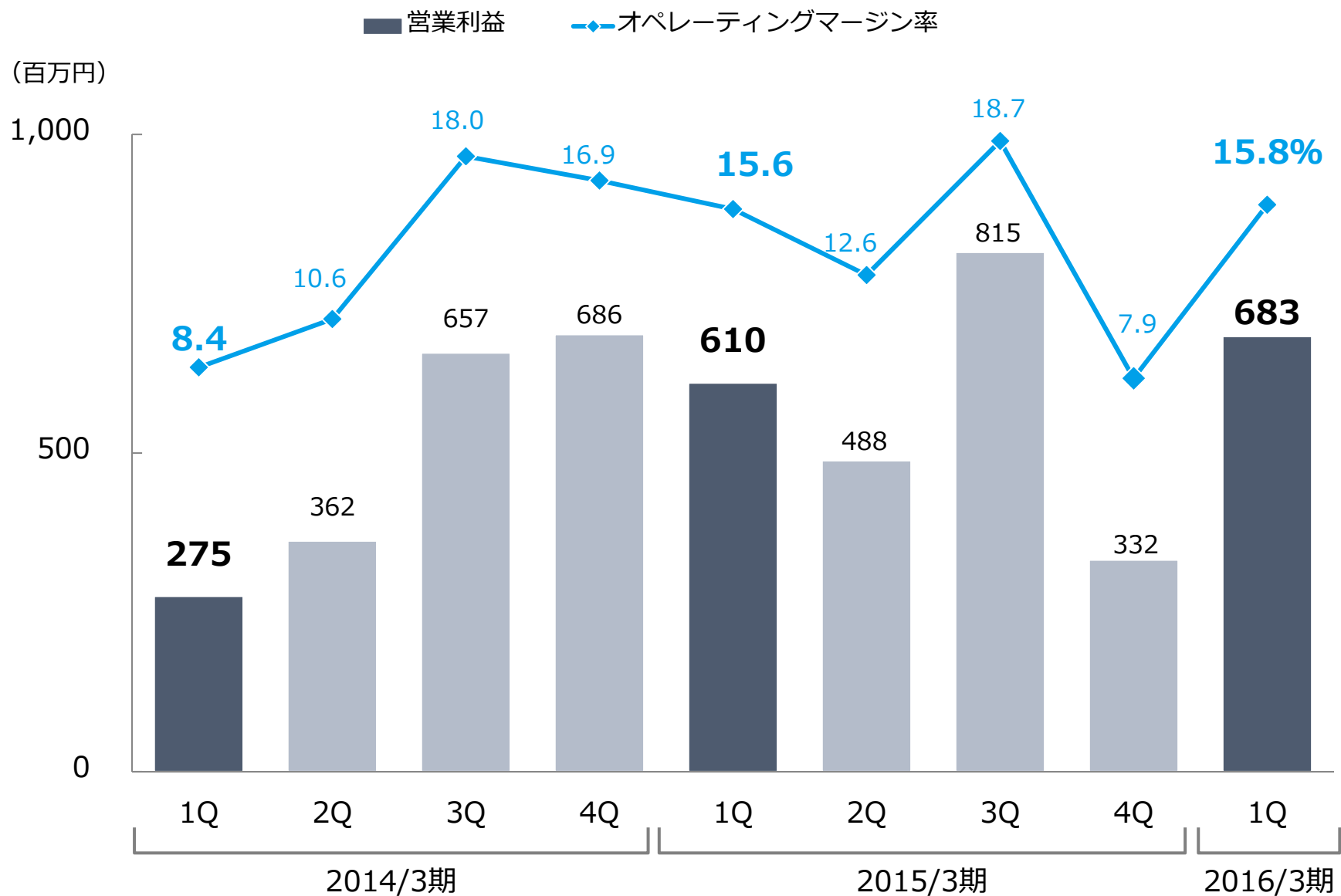
(※) カッコ内は四半期ごとの広告会社別売上高の数値

販管費の推移（連結）

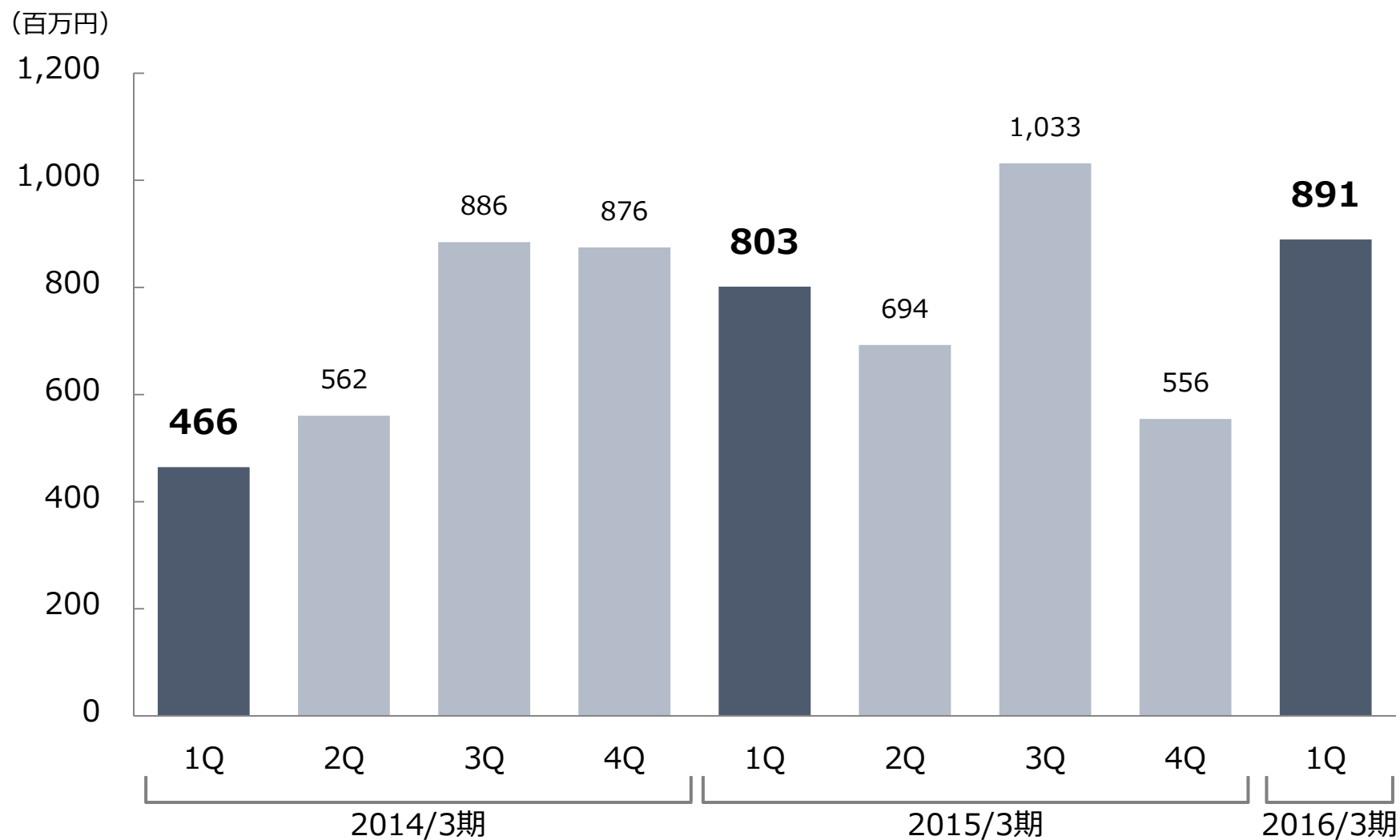


(※) 当社ならびに子会社の取締役、出向受入、契約社員、派遣社員を含めた人数

営業利益の推移（連結）：第1四半期として過去最高



EBITDAの推移（連結）：第1四半期として過去最高



(※) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

貸借対照表（連結）

	2015年3月期末 (2015/3末)		2016年3月期 1Q末 (2015/6末)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年期末比 (%)	主な増加/減少要因
流動資産	36,049	82.1	35,125	82.2	97.4	現金及び預金の減少
固定資産	7,848	17.9	7,615	17.8	97.0	
資産合計	43,897	100.0	42,741	100.0	97.4	
流動負債	20,345	46.3	19,728	46.2	97.0	賞与引当金・未払法人税の減少
固定負債	553	1.3	524	1.2	94.8	
負債合計	20,899	47.6	20,253	47.4	96.9	
株主資本	13,467	30.7	13,005	30.4	96.6	
非支配株主持分	7,584	17.3	7,690	18.0	101.4	
その他	1,945	4.5	1,790	4.2	92.0	その他有価証券評価差額金の減少
純資産合計	22,998	52.4	22,487	52.6	97.8	
負債・純資産合計	43,897	100.0	42,741	100.0	97.4	

キャッシュ・フロー計算書（連結）

(百万円)

	2016年3月期 1Q (2015/4~2015/6)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△224
投資活動によるキャッシュ・フロー	△382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△420
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11
現金及び現金同等物の増減額	△1,039
現金及び現金同等物の期首残高	11,421
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,382

■ 主な営業活動によるキャッシュ・フロー

・税金等調整前四半期純利益	743百万円
・減価償却費	162百万円
・売上債権の増減額	52百万円
・関係会社株式売却損益	△60百万円
・未払金の増減額	△128百万円
・賞与引当金の増減額	△520百万円

■ 主な投資活動によるキャッシュ・フロー

・関係会社株式の売却による収入	80百万円
・差入保証金の回収による収入	46百万円
・投資有価証券の取得による支出	△61百万円
・有形固定資産の取得による支出	△192百万円
・無形固定資産の取得による支出	△224百万円

■ 主な財務活動によるキャッシュ・フロー

・非支配株主からの払込みによる収入	52百万円
・非支配株主への配当金の支払額	△82百万円
・配当金の支払額	△390百万円

単体決算概要

単体決算ハイライト

(百万円)

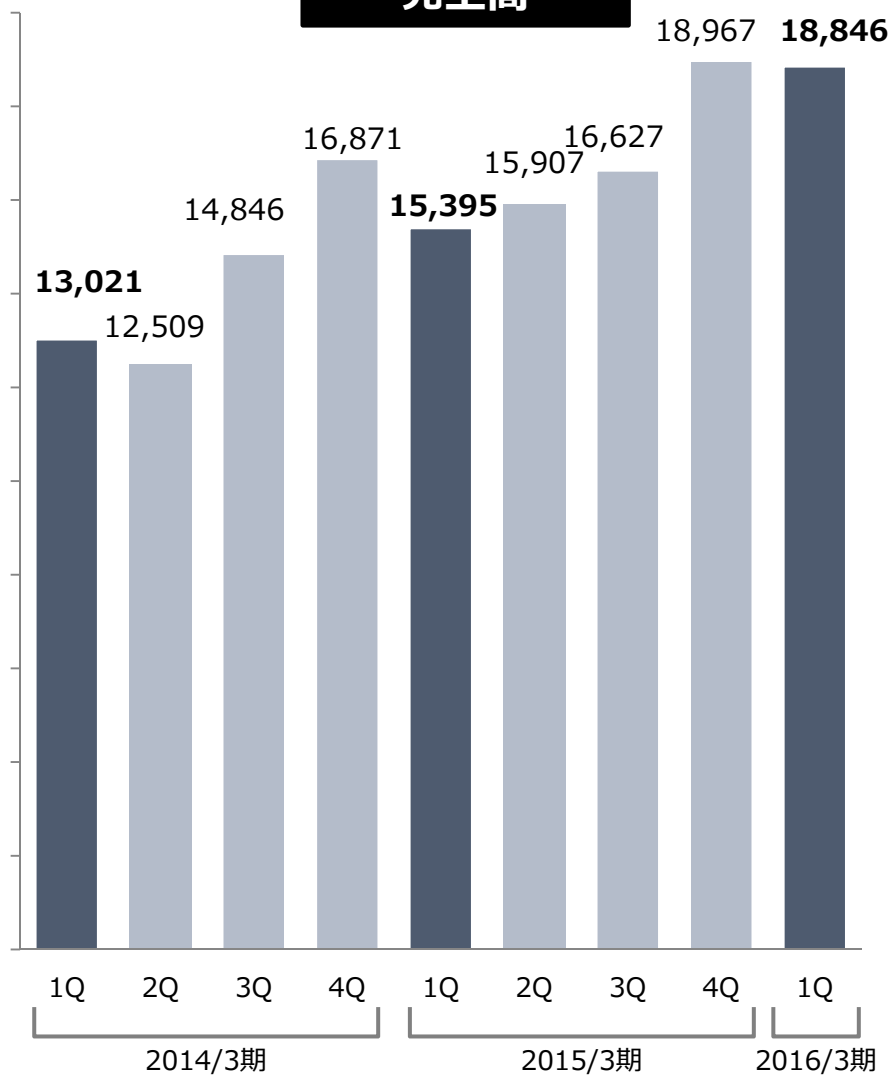
	2016年3月期 1Q	
	四半期 (2015/4~2015/6)	前年同期比
売上高	18,846	122.4%
売上総利益	1,793	153.9%
営業利益	452	502.1%
四半期純利益	689	143.6%
OM率 (※)	25.2%	+17.5pt

(※) オペレーティングマージン率 = 営業利益 ÷ 売上総利益

売上高・売上総利益の推移（単体）

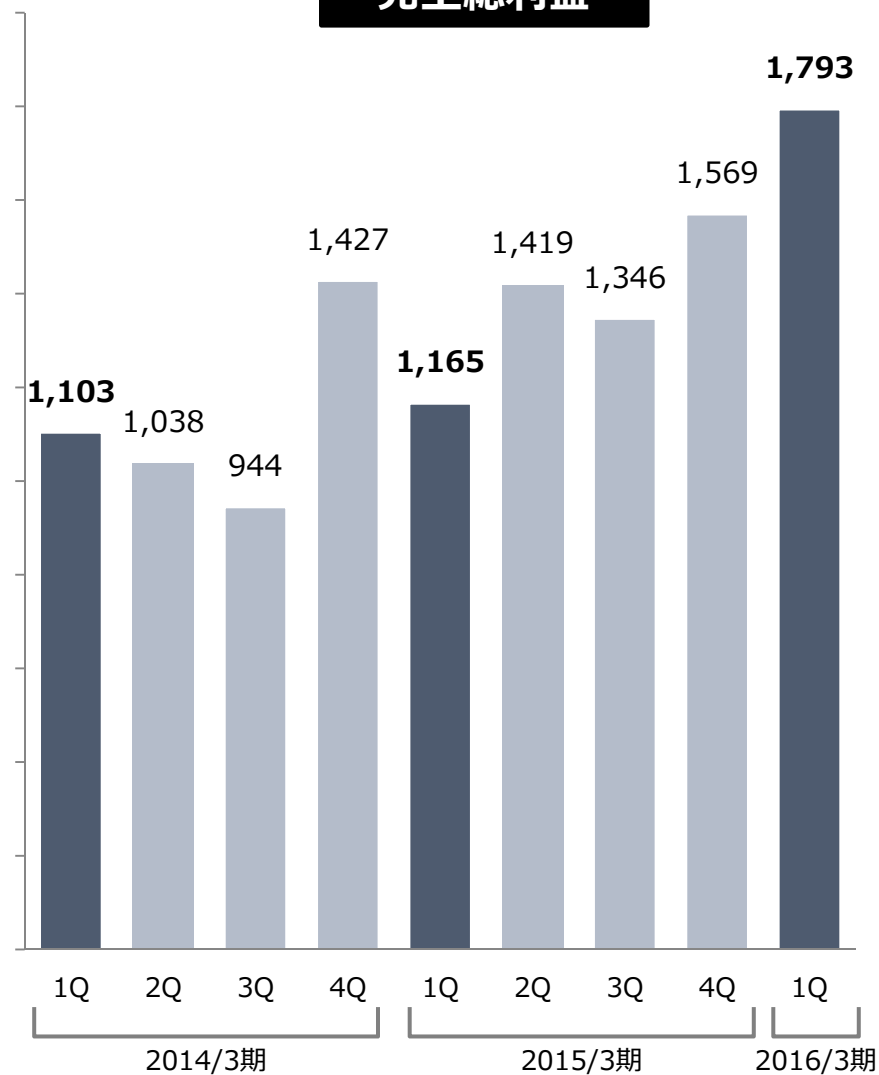
(百万円)

売上高



(百万円)

売上総利益



サービス別の状況（単体）

売上高	2015年3月期 1Q (2014/4~2014/6)		2016年3月期 1Q (2015/4~2015/6)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
メディアサービス	14,738	95.7	18,064	95.8	122.6
テクノロジーサービス	582	3.8	509	2.7	87.5
投資事業・ オペレーションサービス	74	0.5	272	1.4	365.5
合計	15,395	100.0	18,846	100.0	122.4

売上総利益	2015年3月期 1Q (2014/4~2014/6)		2016年3月期 1Q (2015/4~2015/6)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
メディアサービス	875	75.1	1,308	73.0	149.4
テクノロジーサービス	231	19.8	228	12.8	99.0
投資事業・ オペレーションサービス	58	5.0	256	14.3	435.8
合計	1,165	100.0	1,793	100.0	153.9

事業の動向

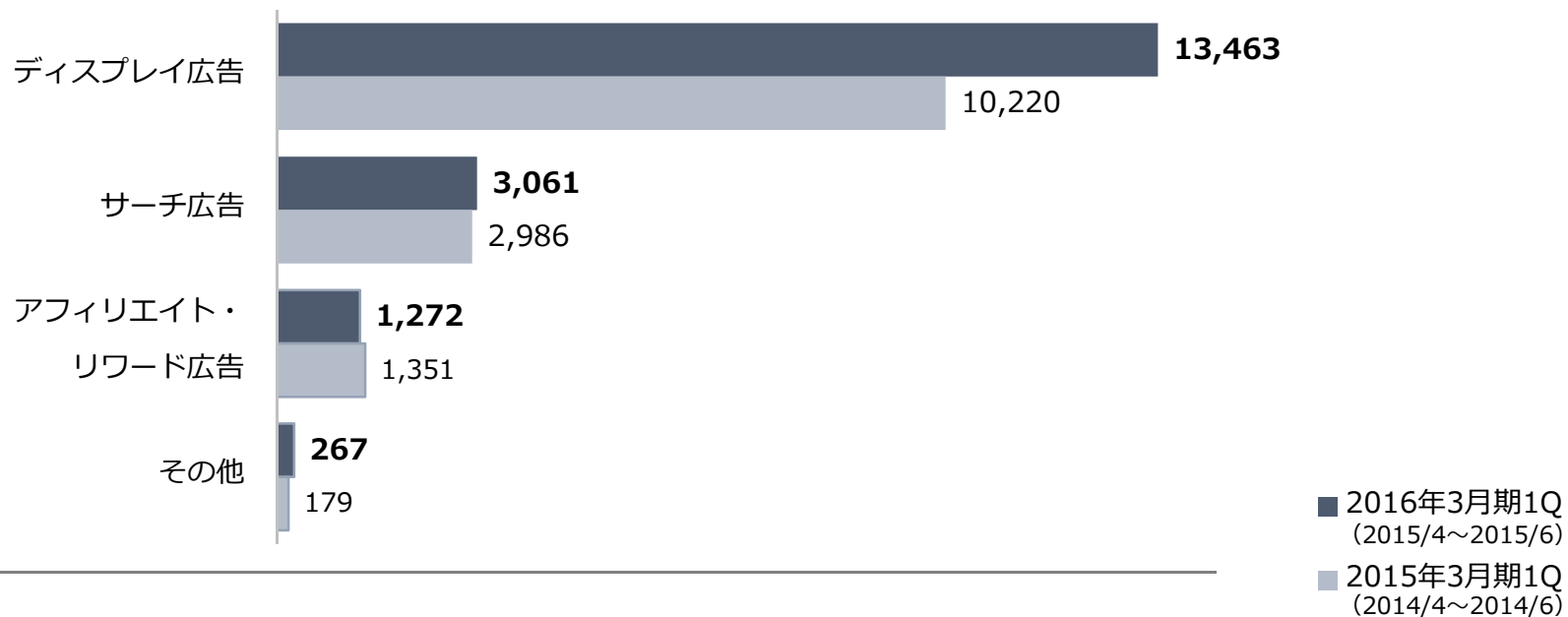
フォーマット別 売上高 (単体)

	2015年3月期 1Q (2014/4~2014/6)		2016年3月期 1Q (2015/4~2015/6)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
ディスプレイ広告	10,220	69.3	13,463	74.5	131.7
動画広告	703	4.8	1,698	9.4	241.5
バナー広告・リッチ広告他	9,517	64.6	11,765	65.1	123.6
サーチ広告	2,986	20.3	3,061	16.9	102.5
アフィリエイト・リワード広告	1,351	9.2	1,272	7.0	94.2
その他	179	1.2	267	1.5	148.9
合計	14,738	100.0	18,064	100.0	122.6

フォーマット別売上高 / スマートデバイス広告・運用型広告売上高

◆ フォーマット別売上高 (単体)

(百万円)



◆ スマートデバイス広告売上高 (連結)

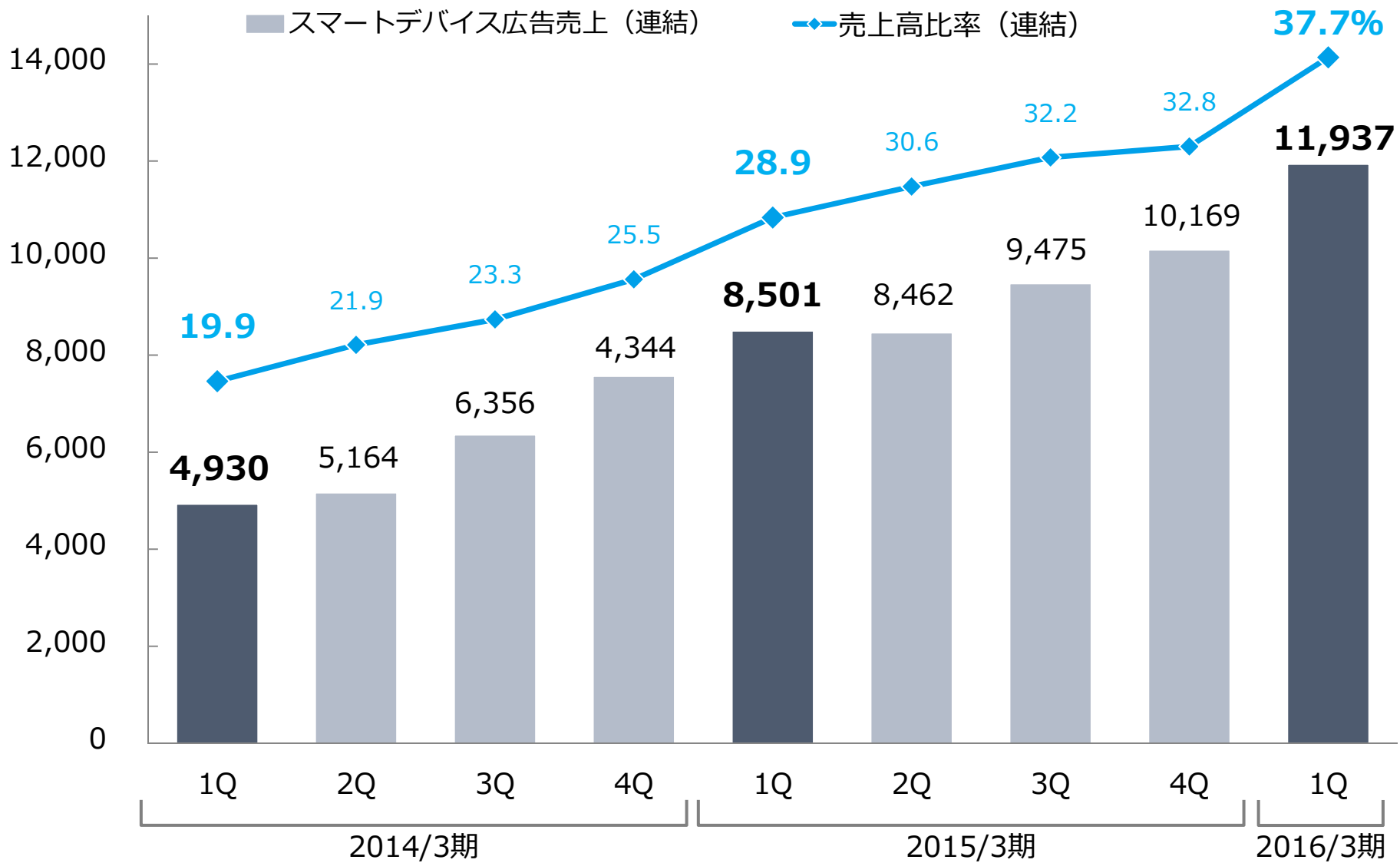


◆ 運用型広告売上高 (連結)

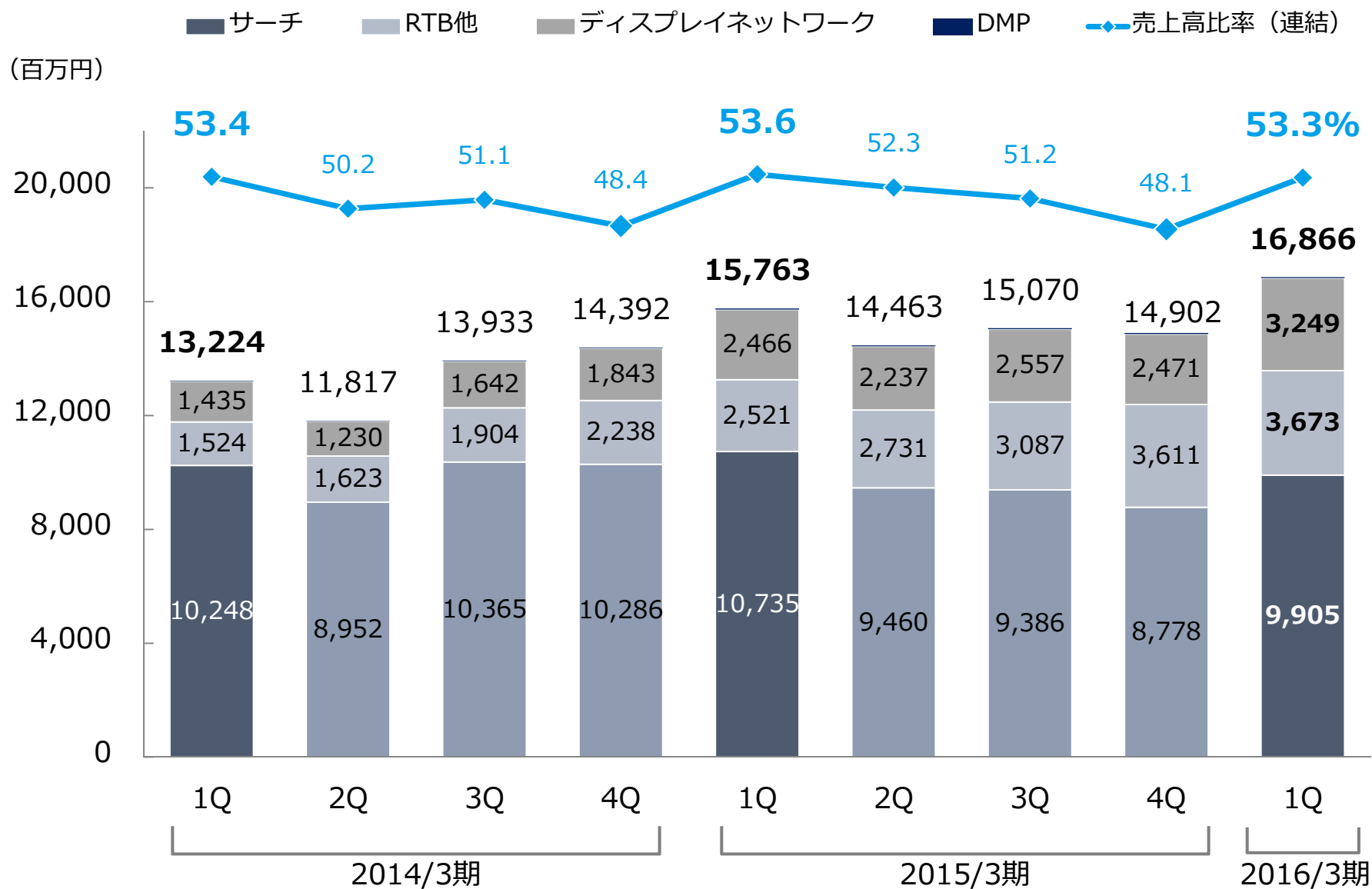


スマートデバイス広告の売上高推移（連結）

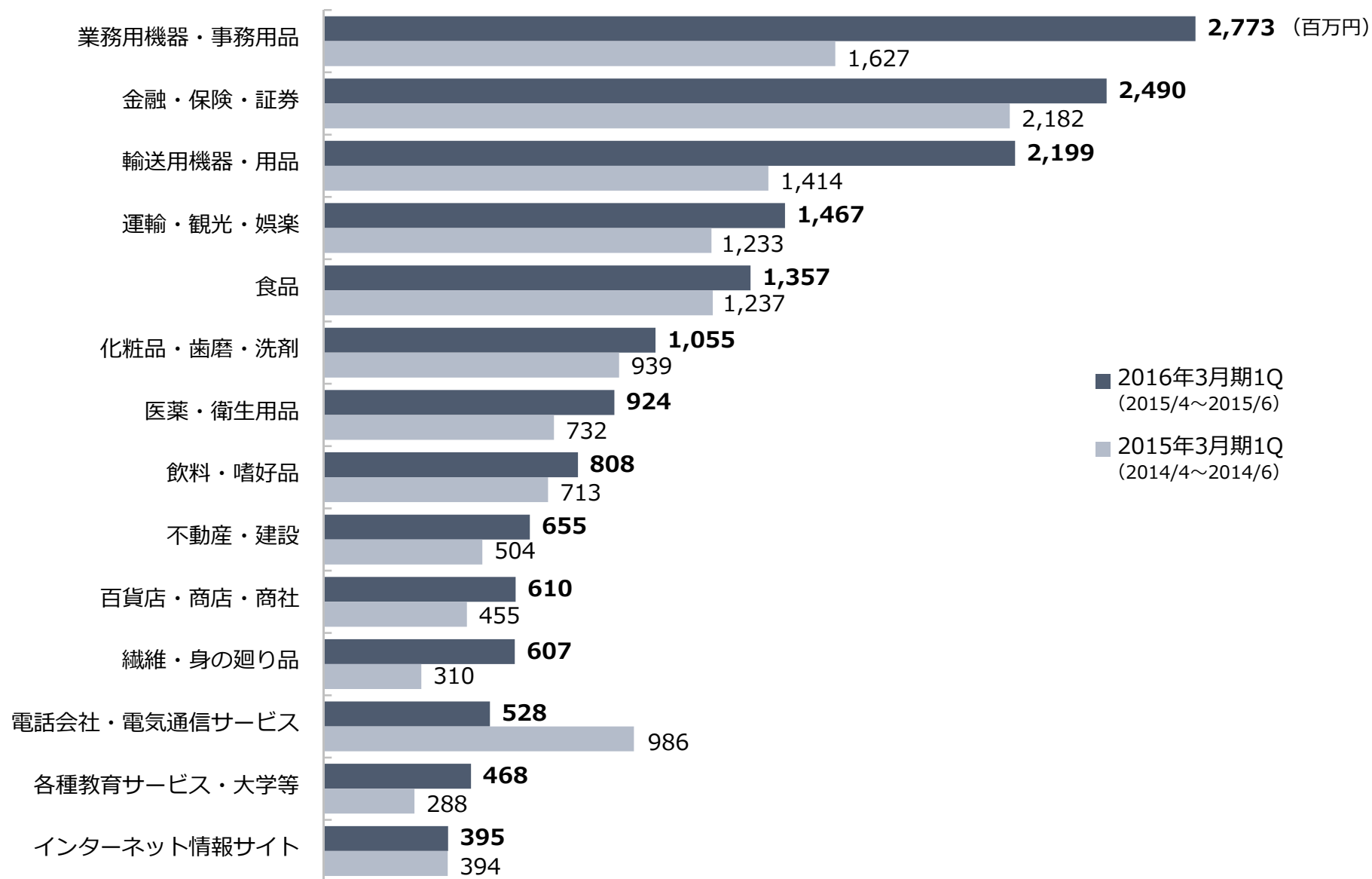
(百万円)



運用型広告の売上高推移（連結）

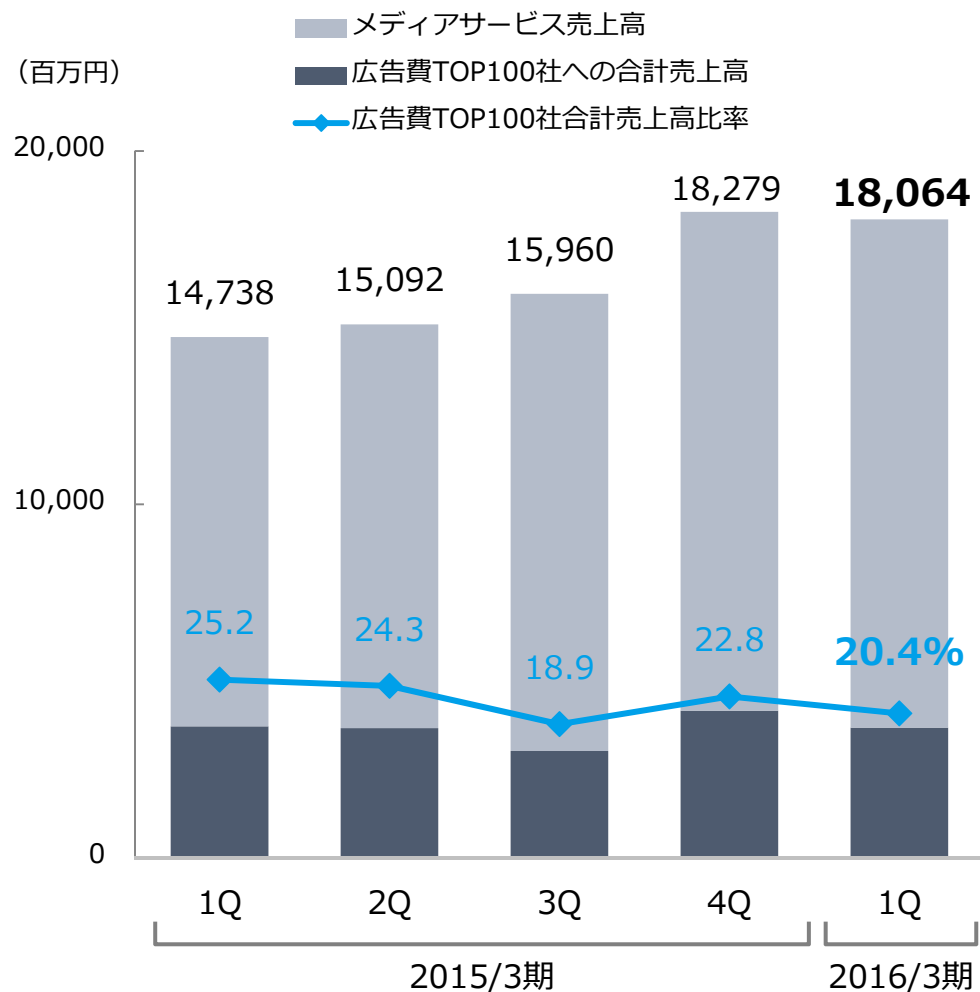


業種別売上高（単体）

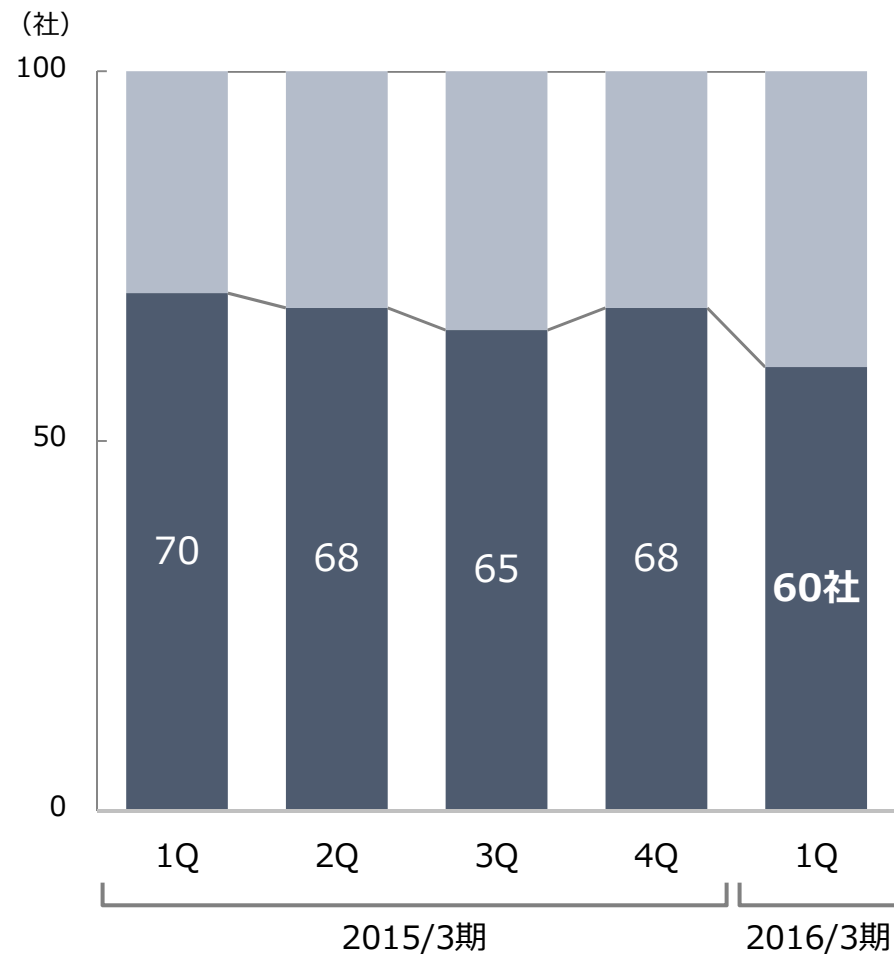


大型広告主の動向

◆ 大型広告主に対する売上高の推移












◆ 大型広告主取扱社数の推移



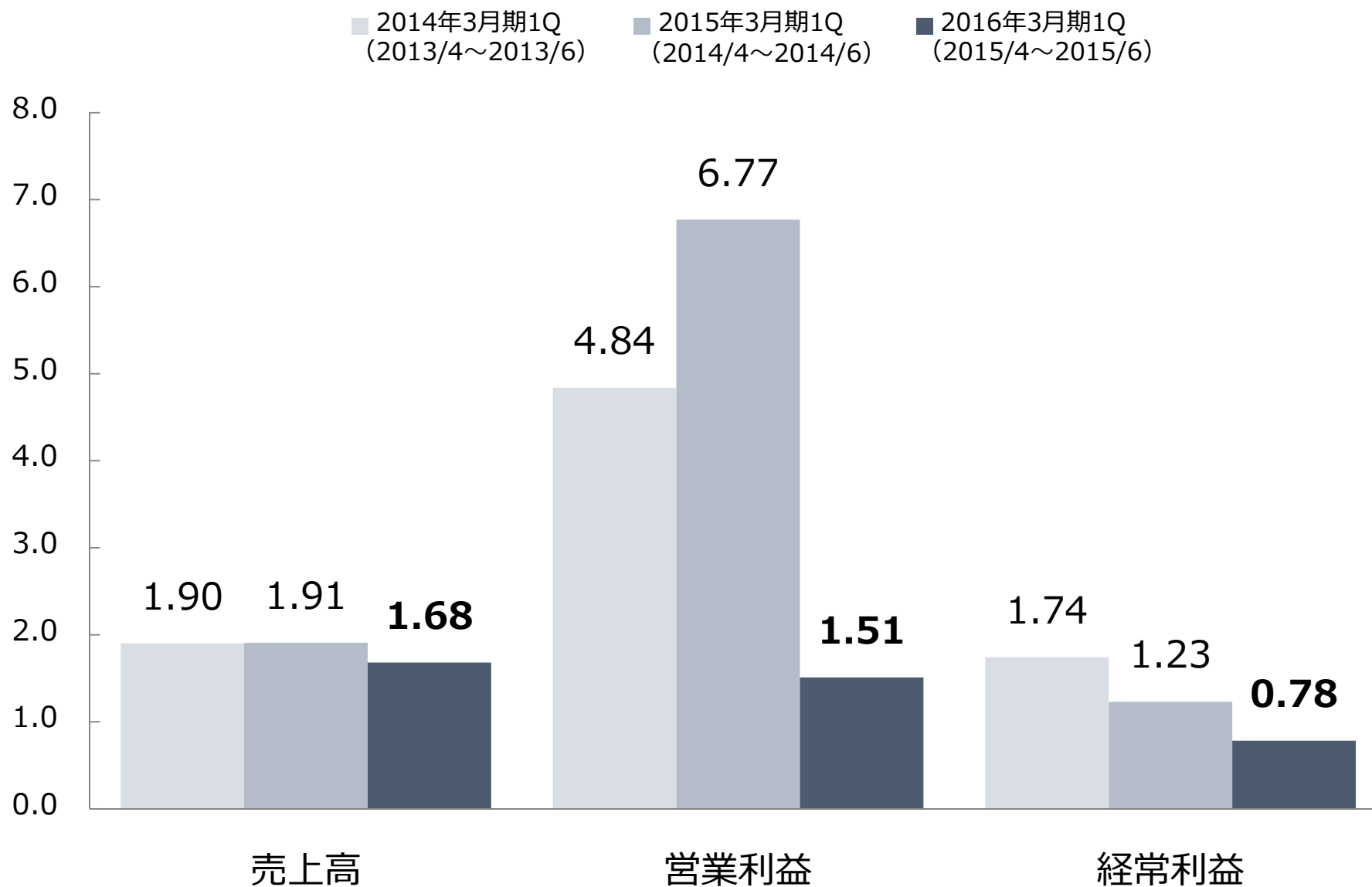
(※) 広告費TOP100社には、日経広告研究所「有力企業の広告宣伝費」の広告宣伝費上位100社を使用しております。

連結子会社の動向

◆ 連結子会社の前年同期比較（累計）

			売上高	営業利益
	アイレップ	Agent DAS	↗	↗
	ユナイテッド	Agent Media	→	↘
	博報堂アイ・スタジオ	DAS	↗	↗
	プラットフォーム・ワン	Agent	↗	→
	アド・プロ	Agent	→	→
	トーチライト	Agent	↗	↗
	Bumblebee	Media	↗	↗
	北京迪愛慈广告有限公司	Agent	↘	↘
	DAC ASIA PTE. LTD.	Agent	↗	→

連単倍率



重点施策とトピックス

2016年3月期 1Qの主な取り組み

注力領域

プレミアムメディア、動画広告等の注力領域はさらに売上拡大し、順調に成長

新規領域

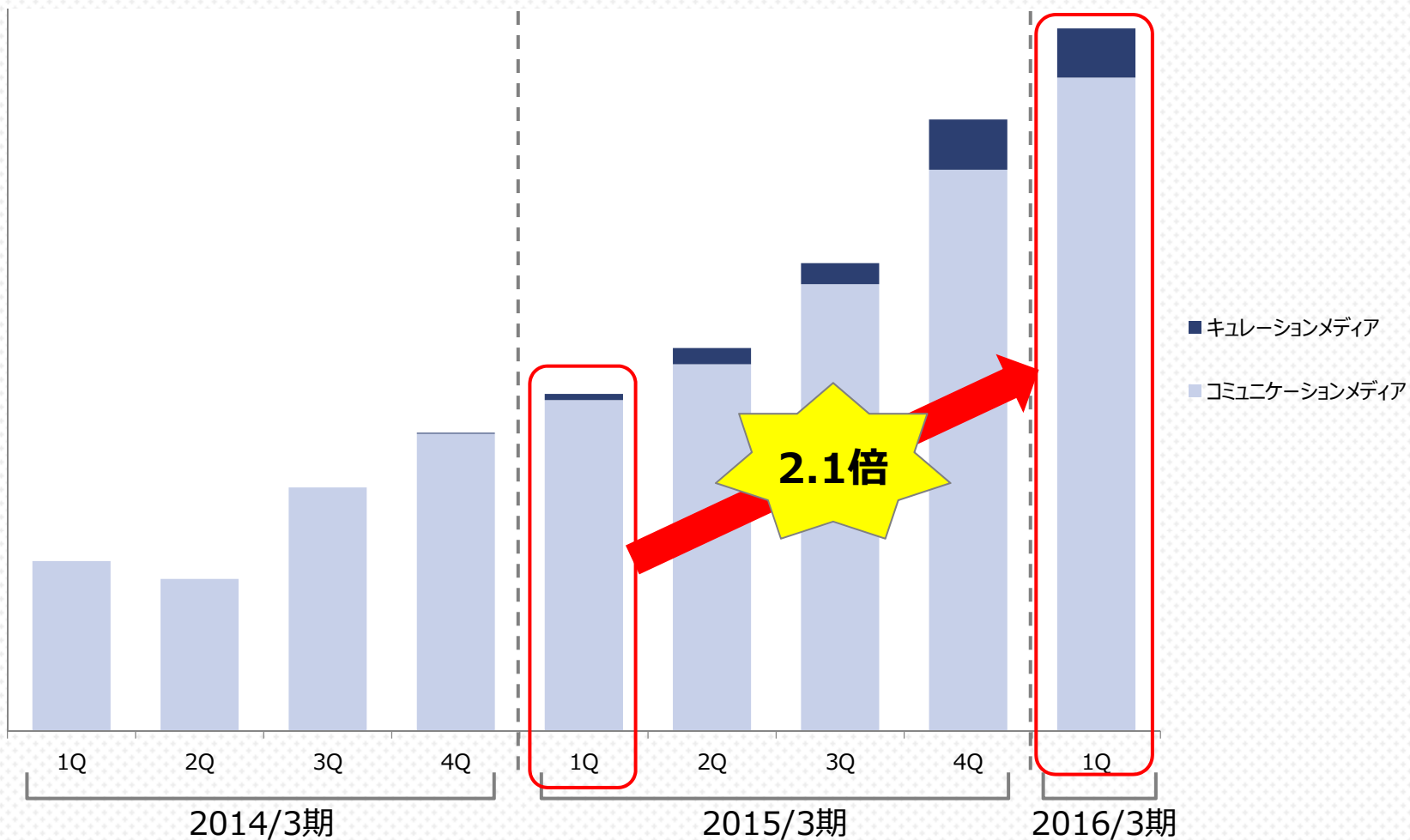
One to Oneマーケティング、インバウンド市場などの新規領域で提携し、新サービスを開発

グローバル

現地大手企業と合併会社を設立し、データマーケティングソリューション事業を展開

注カプレミアムメディア 売上 (単体)

LINE・facebookを中心に、前年比2倍以上の成長を継続



広告運用プラットフォーム「Sherpa」がTwitter広告に対応

- ・ DACとトーチライトが独自に培ってきたTwitter広告の運用ノウハウを盛り込んだツール開発が可能
- ・ 今後新たに出てくるTwitter広告フォーマットへの迅速な対応が可能
- ・ 2014年7月にFacebook社の広告APIパートナーに認定されており、Facebook・Twitter広告の運用を「フルサポートサービス」として提供



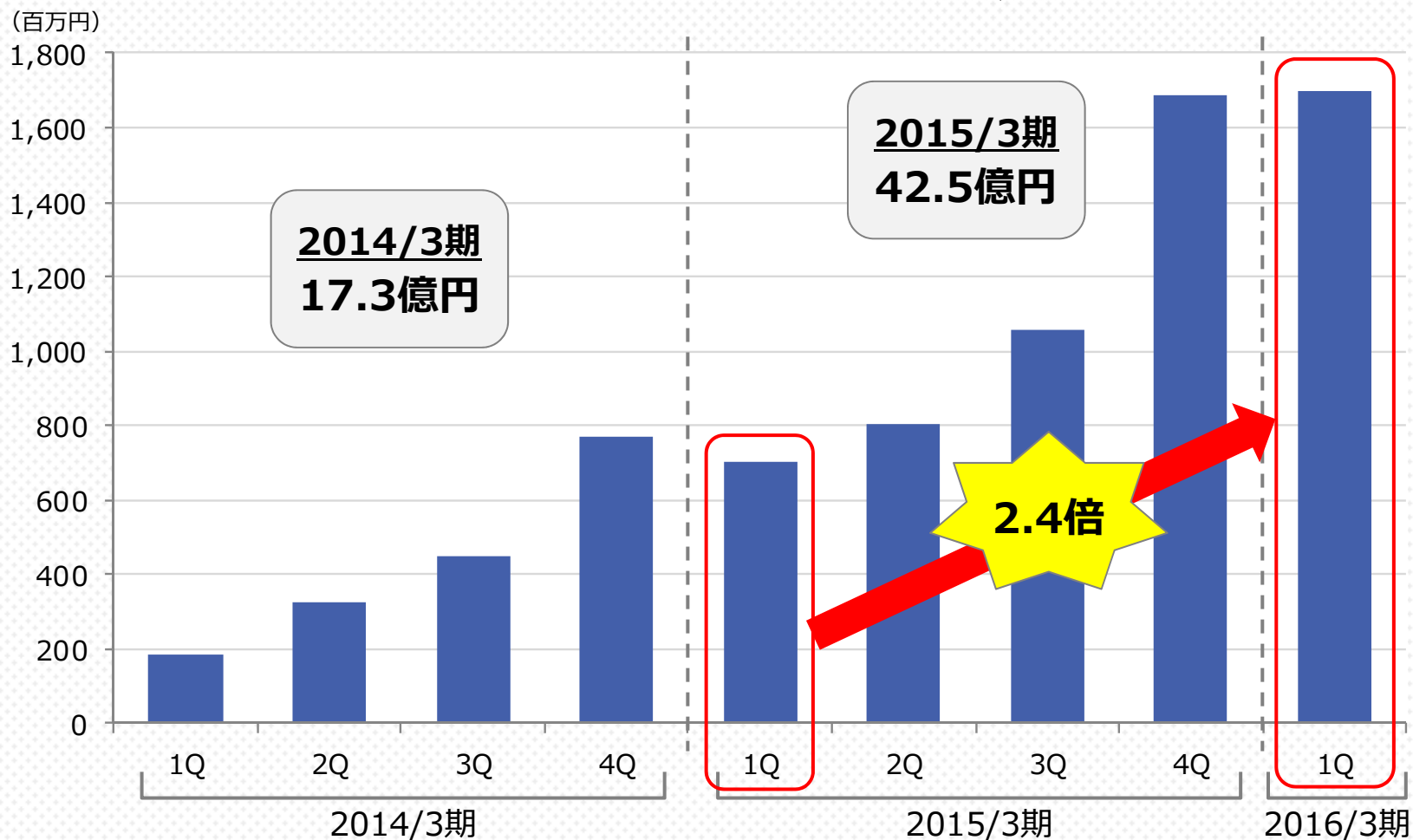
Facebook・Twitter広告
運用プラットフォーム



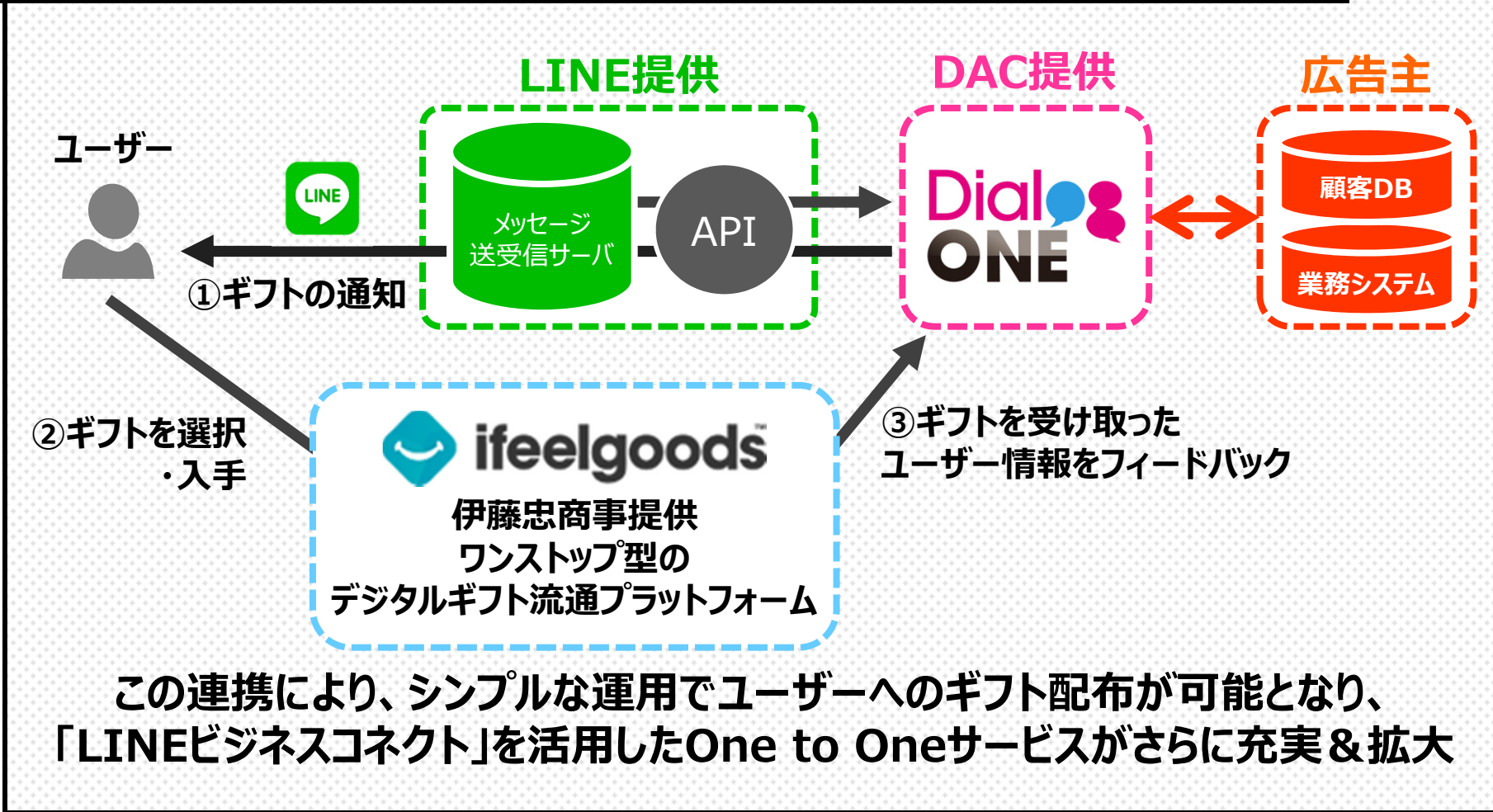
「Twitter Official Partner」
Twitter上で高品質なプロダクトや
専門的なレベルのサービスを提供できる
企業が認定を受けることができる

動画広告 売上 (単体)

YouTube・Yahoo!・facebookなどで大きく拡大



「DialogOne」とデジタルギフト流通プラットフォーム「ifeelgoods」が連携



動画広告市場で注目されるYouTube MCNとの資本業務提携

- 「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録
- 2020年の東京オリンピック開催

日本の「食」に関する情報収集
を行う外国人ユーザーのニーズ
を満たす動画サービス提供



Yummy Japan



動画広告取引
ノウハウのある
DAC



人気YouTuber
を抱え、動画製作
にノウハウのある
Yummy Japan



海外からの
インバウンド需要を
取り込み

グローバル

インドネシア大手自動車企業インドモビルグループとの合併会社を設立

インドネシアでDMPを中核とするマーケティングソリューション事業を共同で展開



東南アジア地域における
統合デジタルマーケティング
ソリューションの提供

合併会社
を設立

インドモビルグループ
PT IMG Sejahtera
Langgeng



インドネシアにおいて
グローバルブランドの自動車工場や
販売ディーラー網を展開

国内最大級
DMP

AudienceOne®
ライセンス提供



インドモビルおよび関係会社の
保有データを一元管理、
マーケティングへの活用を支援

 **D.A.X**perience
PT Data Arts Xperience
(略称 DAX)



2016年3月期第1四半期 決算説明会

ご清聴誠にありがとうございました。

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社

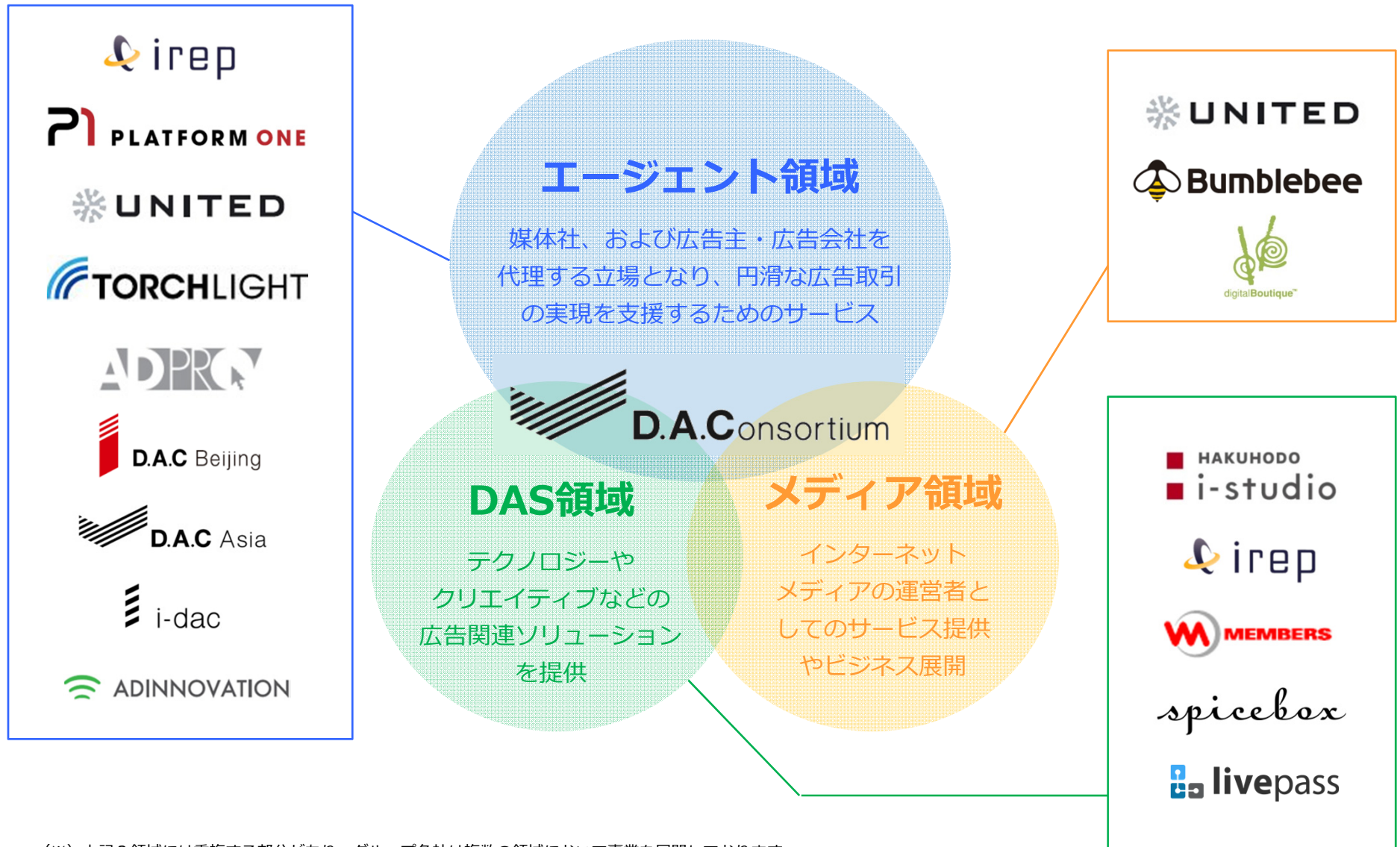
J Q 4 2 8 1 <http://www.dac.co.jp>

戦略統括本部 社長室

T E L : 03-5449-6300

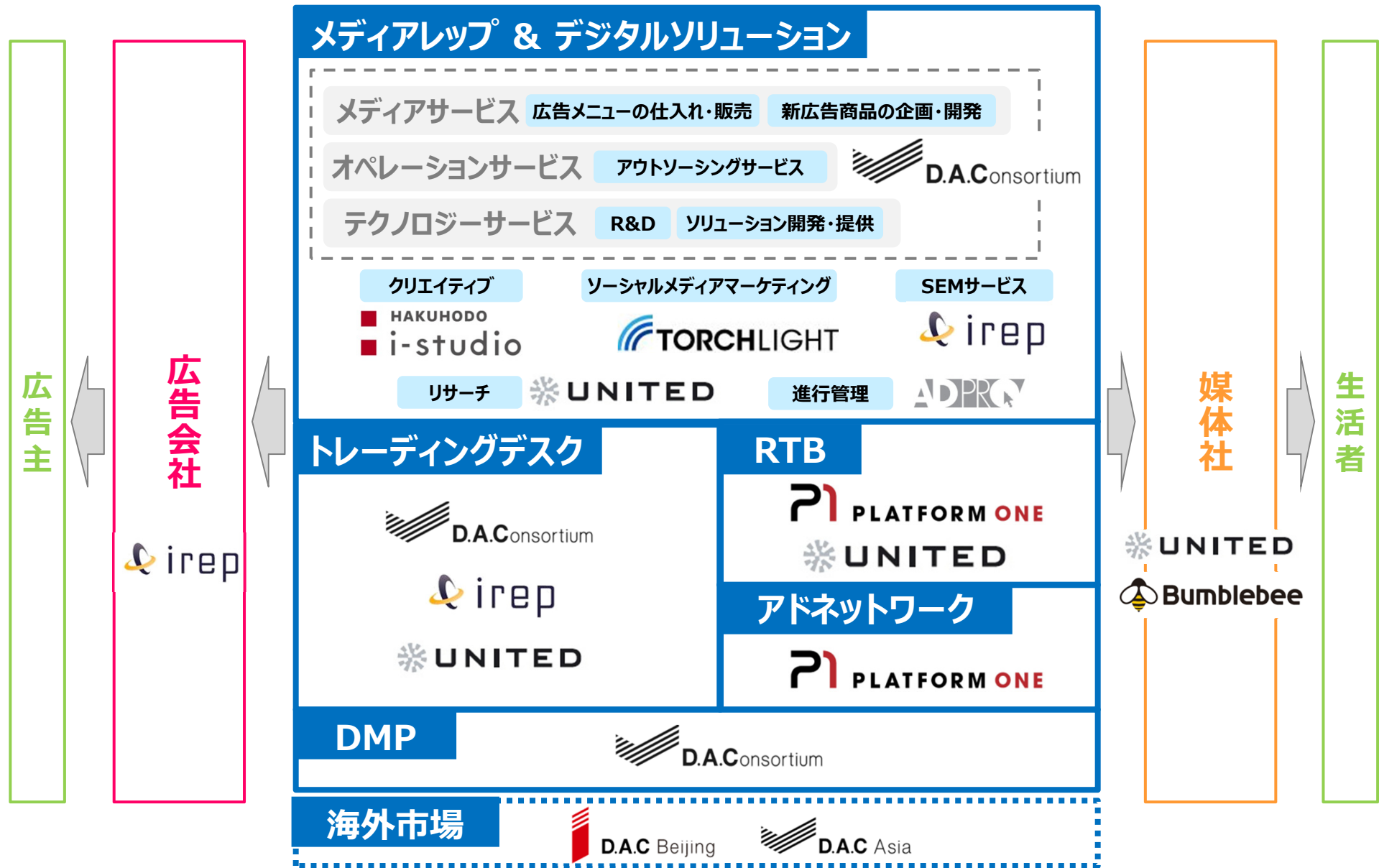
ご参考

DACグループの事業ドメイン



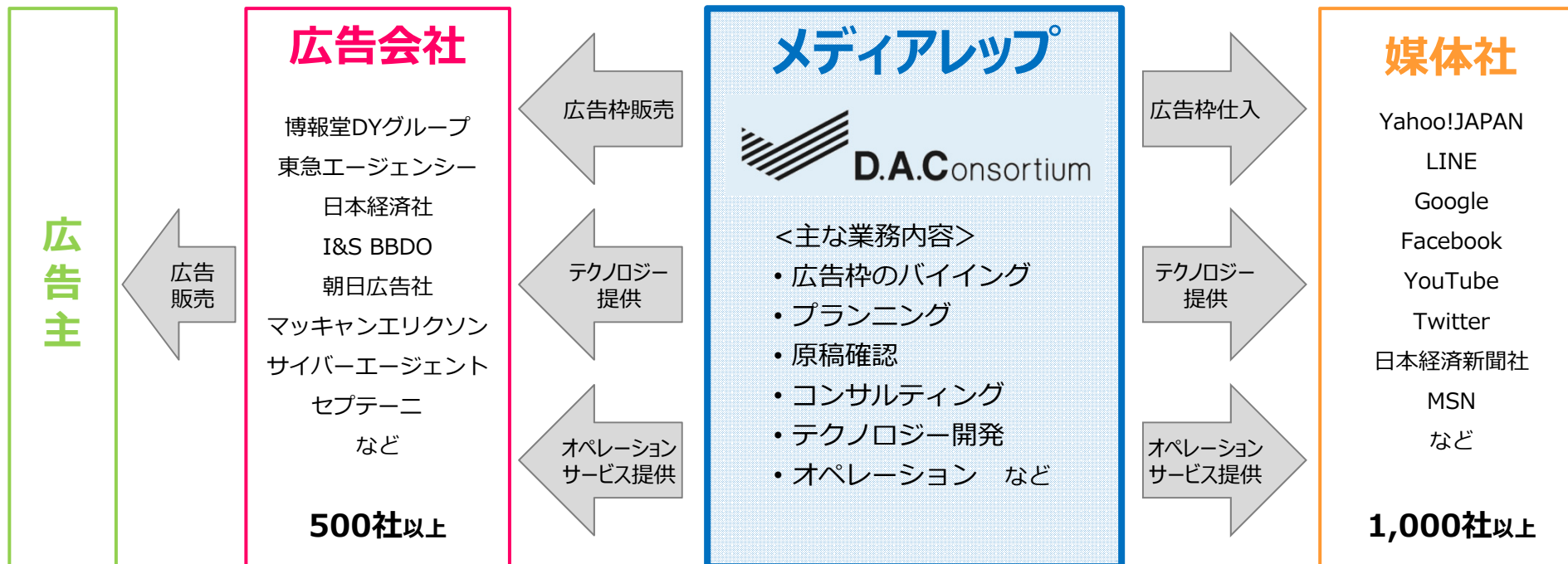
(※) 上記3領域には重複する部分があり、グループ各社は複数の領域において事業を展開しております。

DACグループのビジネスモデル



DACの主力事業「メディアレップ」とは

「メディアレップ」として、
インターネット広告取引に関するあらゆるサービスを提供



コンソーシアム体制

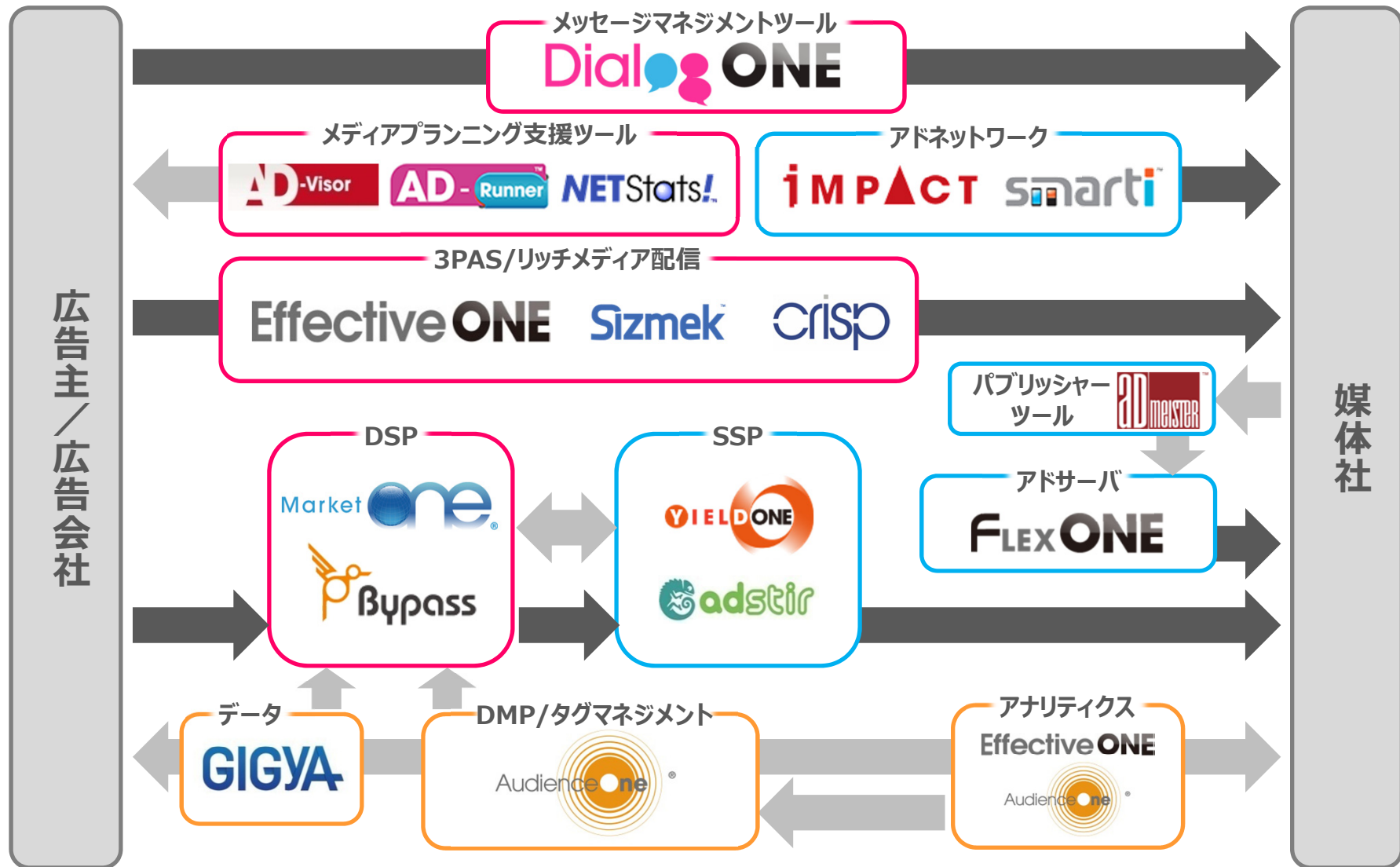
博報堂DYグループをはじめとした、
大手の有力な広告会社による
共同出資体制

+

インターネット広告のメディアレップ

媒体社と広告会社の間で、
インターネット広告取引に関わる
あらゆるサービスを提供







DACグループのアドテクノロジーラインナップ



主要連結子会社（2015年6月末現在）

社名	保有比率 (間接保有含む)	事業内容
 (株)アイレップ <small>東証二部</small>	57.6%	運用型広告、SEO、コンテンツマーケティング、Web解析などのデジタルマーケティング事業
 ユナイテッド(株) <small>Mothers</small>	43.2%	スマートフォンアプリ事業およびアドテク事業
 (株)博報堂アイ・スタジオ	60.0%	インターネット広告領域全般における企画制作、システム開発、CRM事業
 (株)プラットフォーム・ワン	100.0%	インターネット広告取引のプラットフォームサービスの提供
 (株)アド・プロ	100.0%	インターネット広告におけるスケジュール管理、送稿、掲載確認などの進行管理業務の提供
 (株)トーチライト	100.0%	オウンドメディアと広告を中心としたソーシャルメディア活用支援サービスの提供
 (株)Bumblebee	89.8%	スマートフォンアプリなどのメディア事業および広告プラットフォーム事業
 北京迪愛慈广告有限公司	50.1%	中国におけるインターネット広告事業
 DAC ASIA PTE. LTD.	100.0%	東南アジア地域における、インターネット広告の戦略立案、事業開発、市場リサーチ、グループ各社のアジア進出の支援
 I-DAC PTE. LTD.	85.0%	東南アジア地域における、統合デジタルマーケティングソリューションなどの提供

主要持分法適用関連会社（2015年6月末現在）

社名	保有比率 (間接保有含む)	事業内容
 (株)メンバーズ <small>Centrex</small>	18.9%	Webサイト構築・運用、ソーシャルメディア活用支援などを通じたデジタルマーケティング事業
 (株)スパイスボックス	34.4%	デジタル・コミュニケーション・デザインにおけるマーケティングおよびコンサルティング
 ADINNOVATION (株)アディノベーション	18.0%	スマートフォン向けマーケティング事業、広告効果測定ツール事業、メディアコンサルティング事業
 (株)デジタルブティック	38.2%	コミュニティサイトの企画、制作、運営代行などの各種サービス事業
 livepass(株)	22.4%	動画を用いた新しいパーソナルマーケティングプラットフォームの提供
 Innity Corporation Berhad <small>マレーシア証券市場</small>	25.1%	東南アジア地域におけるオンライン広告取引のプラットフォームおよびアドネットワークの運営

主な出資会社（2015年6月末現在）

社名	事業内容
 デジタルカタパルト(株)	PC・モバイル向けデジタルコンテンツ（コミック等）の制作・配信
 データスタジアム(株)	スポーツデータおよび関連ソリューションの開発・提供
 (株)ビデオリサーチインタラクティブ	ネット広告視聴率調査、広告効果測定ツールの提供
 (株)BrandXing	マーケティング、CRMコンサルティング
 (株)オウチーノ Mothers	不動産サイトの企画・制作・運営および広告代理事業
 (株)ボルテージ 東証一部	モバイルコンテンツの企画・制作
 (株)mediba	モバイルメディアレップ、モバイルコンテンツの企画・編成・制作
 (株)ゆめみ	モバイルサービスの企画・開発・運営・コンサルティング
 (株)ココア	3D仮想空間サービス「meet-me」の運営
 (株)ALBERT Mothers	分析力をコアとし、独自開発のレコメンドエンジンや広告最適化ソリューションを提供
 (株)Origami	次世代eコマースプラットフォーム「Origami」の企画・運営
 データセクション(株) Mothers	インターネット上における消費者の口コミや評判を収集、分析するサービスを提供
 Yummy Japan (株)	YouTubeチャンネル運営事業、Web動画制作事業、広告宣伝事業など
 ZEDO, Inc.	媒体社向けアドサーバーの開発・提供、動画広告フォーマットの開発・提供
 IPONWEB Holdings Limited	各種広告技術、広告技術クラウドサービスの開発、コンサルティングサービスの提供

Empowering the digital future

デジタルの未来に、もっと力を。



“The Axel”

この「ジ・アクセル」と呼ぶロゴマークは、ブランドスローガン「Empowering the digital future」の言葉に込められた精神、つまりデジタル社会の未来に次々と活力を与え、切り開いていく志を示すものです。

本資料のご利用にあたって

本資料は、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社の事業及び業界動向についてのデジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2015年8月5日現在において利用可能な情報に基づいて、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社により2015年8月5日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

また、事業領域別売上高／売上総利益、販管費内訳、サービス別売上高／売上総利益、フォーマット別・デバイス別・取引手法別売上高、業種別売上高、大型広告主の動向、連結子会社の動向、連単倍率につきましては、当社独自の分類・区分により算出した社内管理上の数値であり監査法人の監査・レビューを受けておりません。